

叫び

シリーズ・私の提言

私たちが生きていく上で欠かすことができない「食」は、農業によって支えられています。人々の暮らしがその国の豊かな大地からというの国は基本的な在り方ではないでしょうか。



日本の食料と国土を守る運動を広げよう

このスペースは、社会や地域への思いを自由に述べて頂けるよう読者の皆さんに開放しています。

安定化が益々拡大する。その影響は下表を見れば一層歴然とします。

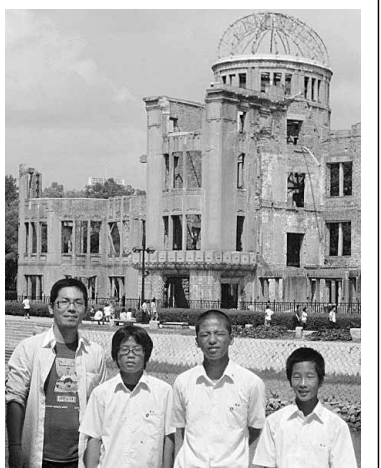
第三に、TPP参加は日本経済をガタガタにし、国民生活を脅かす。国民生活・内需を犠牲にして輸出企業だけを応援するため「円高体質」「産業空洞化」が一層ひどくなり

か。それはアメリカの圧力があるからです。もともとはニュージーランド、シンガポールなど四カ国の協定でしたが、遅れて加盟したアメリカが拡大を主導し、それに日本の財界が乗る形で推し進められているのです。深刻な財政難に苦しむ

TPP参加による影響の試算

食料自給率(供給熱量ベース)	40%	13%
農産物の生産減少額	4兆1000億円	
林産物の生産減少額	500億円	
水産物の生産減少額	4200億円	
農業の多面的機能の喪失額	3兆7000億円	
国内総生産(GDP)減少額	8兆4400億円	
就業機会の減少数	350万9000人	

(農林水産省試算から作成)



夏の平和学習で中学生と広島を訪れた古谷さん

アメリカの標的はあくまで日本の巨大市場とマネーであり、そのためあらゆる分野の基準を米国に合わせようとしているのです。

公正な貿易ルールこそ、JJA(全国農業協同組合)中央会の取り組んだ反対署名は二二〇万人に達しました。公正で民主的な貿易ルール、自国の食料は自国で生産するという「食料主権」を確立することこそ大切で、アメリカと日本の財界の身勝手のために国益を損なうことのないよう、諦めずに粘り強く、TPP参加を断念させるまで反対を貫きましょう。

不十分な国の支援 そんな子どもたちの悲しき家庭像と労働者の資質を身に付けたことが彼の一番の強み。これは子どもたちが家庭の姿を取り戻してやりたいという情熱や、誇りを持って仕事に取り組む姿勢に繋がっています。今後、例え、施設から高校を卒業しても親の援助が望めないで大学へ進めず、やむなく就職する子どもがほとんどですが、精神的自立が伴って成長してほしい。彼は既にこういう視点を備えています。さらに深め、今後訪れるであろう「壁」を乗り越えてほしい。

原発ゼロへ迫力展示

「戦争展」反響、15日に講演

「国全体が原発ゼロへの決意を！」原発と戦争を一体で展示した「港区私たちと戦争展」が反響を呼んでいます。実行委主催で三十一回目。八月二十七、二十八日には港近隣センターで「展示の部」が終了、九月十五日(木)には港区民センターで「講演の部」が行われます。△下に広告▽



戦争展 8月28日

「展示」では①国防婦人会発祥の地・港区②出征基地となった大阪港③空襲で壊滅した港区④空襲で戦争を振り返る展示が例年通り行なわれる一方、大震災で深刻な被害をもたらした

「安全神話」を「科学の目」で検証する詳細で迫力ある展示が目を引きました。会場では実行委員らが、港区を百キロ圏内に含む若狭原発を取材した体験をもとに、①原発周辺では驚くほど「安全神話」が溢れている②三・一一以降も「安全」PRが続いていた③安全神話の根拠とされる「五重の壁」が福島では全て崩壊した④などを来場者に説明し、「国全体が原発ゼロへの決意を持たなければどうしようもない段階に来ている」と強調していました。



9月15日の「講演の部」の講師となる安齋育郎さん

【1面のつづき】

「子どもたちの成長」です。喜ぶだといえます。また、家庭問題が解決し急にしっかり喋るようになる時、何も考えていないように見えた子が仕事の夢を語ったり、と思えばそれが逆に戻ったり。そして成長した姿を見せると



「子どもたちの成長」です。喜ぶだといえます。また、家庭問題が解決し急にしっかり喋るようになる時、何も考えていないように見えた子が仕事の夢を語ったり、と思えばそれが逆に戻ったり。そして成長した姿を見せると

労働者の資質が強み

期待語る「社会的視点深め壁越えよ」施設長

「子どもたちの成長」です。喜ぶだといえます。また、家庭問題が解決し急にしっかり喋るようになる時、何も考えていないように見えた子が仕事の夢を語ったり、と思えばそれが逆に戻ったり。そして成長した姿を見せると

CT導入 安心の医療のために
インプラント、歯列矯正の診断力がアップしました!

素敵な笑顔は健康な口腔から

むし歯予防 歯周病予防 歯並び矯正

インプラント ホワイトニング 鎮静法etc.

とみもと歯科

http://www.tomimoto-implant.com/

06572-1182 港区港晴4-1-10 辻産業第6ビル1F

第31回 **港区私たちと戦争展** 入場無料

身近な歴史をほりおこし、戦争の真実を次の世代に語りつこう!

「安全神話」とたたかいつづけてきた **安齋育郎さん語る**
放射線防護学 立命館大学名誉教授

「原発事故と放射能と私たち」

「私たちはいやおうなく、身を守るため、子どもや未来を守るために、放射能についての基本的な知識を身につけておかなければいけない時代」と安齋さんはうたえます。展示の部(8月27、28日)でも迫りましたが、若狭の原発から100キロ圏内にある港区の私たちにとっても、福島はわが身のことです!

港戦争展を支える500円署名へのご協力をよびかけています

主催 **港戦争展実行委員会**

港区港晴2-7-2-101 港生健会内 06576-4809

より良い余生のために **自叙伝を!**

400字(原稿用紙1枚)で千円が標準料金です。

音楽家として実績を積み、地域にも貢献してきたと自負していましたが、避居を過ぎてから、これまでの人生を一度まとめ、今後の弾みかたしたいと冊子化を依頼しました。丁寧な聞き取りと、無駄のない綺麗な文章に満足しています。(旭区・60代女性、総料金9万円)

お話をききとり、冊子にしてお渡します。

田中3-3-3 飯田編集事務所 06571-4636